

電気工事店 さま

中部電力パワーグリッド株式会社

引込第一支持点における引込線用スリーブカバーへの テープ巻きについて (徹底)

記

1 経緯

お客さまから「2018年度に設備更新した監視カメラ4箇所の点検を実施したところ、1箇所のみ先方ボックス内の端子台（圧着端子）に錆が発生していた。現場の状況※から引込口の接続点（引込第一支持点）からの雨水侵入により発錆に至ったのではないか。」との申し出があり、弊社にて調査を実施致しました。

調査の結果、引込第一支持点（L相とN相）における引込線用スリーブカバーが、上下2カ所とも自己融着テープ1回2層とビニルテープ1回2層にてテープ巻きがなされており、施工不良の状態であることを確認しました。

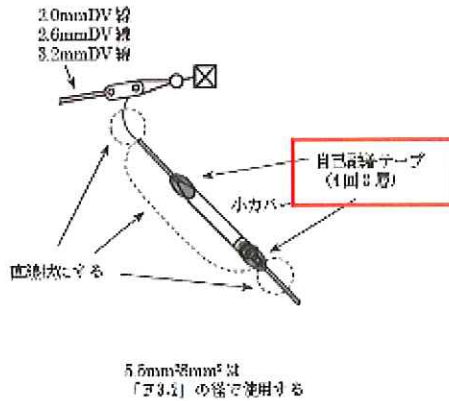
後日実施した解体調査により、引込線用スリーブカバー内部に滞水した雨水が引込口配線の被覆内部を通水して、お客さまの端子台が浸水したことで発錆に至ったと推定しております。

※ 施設状況

全体図	引込第一支持点(先方柱)	端子台 (先方ボックス内)
<p>至：引込第一支持点</p> <p>テープ巻き不備</p> <p>引込線（既設）は道路横断（2.6DV₂ × 12m）【総務会後修正】</p>	<p>引込工事センター直営班施工後写真（写真は、施工不良の状態）</p>	<p>端子台は、引込第一支持点から第一接続箇所。ここから監視カメラへ接続</p>

2 本来の取扱い（徹底事項）

引込口の接続点（引込第一支持点）からの雨水浸入を抑制するため、自己融着テープを用いて4回8層巻きかつテープ巻き幅60mm以上にて、引込線用スリーブカバーへテープ巻きをお願いします。



テープ巻き適用範囲と施工方法

適用電線太さ	2.0mm	2.6mm	3.2mm
テープ巻き幅	60mm 以上		
テープ巻き 施工方法			

【外線工事施工の手引 11-49、引込および内線工事便覧 P98、110】

3 お願い

各県協力会にて実施している定例会等の機を捉え、周知を実施いただくとともに前述2「本来の取扱い（徹底事項）」による確実なテープ巻きをよろしくお願いします。

以上